

文化財探訪 〈昔話をめぐるみち〉

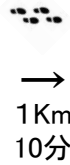
北コース 片道約2Km

①妙立山新蔵寺は、寛永(1624~1644)年間に佐倉城主土井利勝が榎戸新田村を開発した時に、日蔵上人を迎えて創建されたと伝えられる。本堂には土井利勝の位牌と天正年間の作とみられる日蓮上人の木像が安置され、創建当時のもとみられる山門の梁間には見事な彫刻が刻まれている。また、土井利勝の命日7月10日には「土井様ひまち」と呼ばれる供養が行われている。

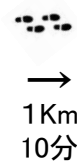


所在地: 榎戸755

① 新蔵寺



② 大宮神社



③ 北向きの道祖神

③北向きに祀られている道祖神は珍しいことから、へそ曲がりの神様といわれる。願をかけたなら満願までは、参詣する姿を人に見られてはいけない。昔、参詣者はすぐ下の「かわらめきの河原」で身を浄めた後、他へは寄らずにまっすぐにここに来て祈願したという。



所在地: 榎戸218

②神社の境内には、多くの古木が残され、見事な社叢を形成している。また、堂内には長さ約3mの太い木太刀が保管されている。これはいつの頃か、地方巡歴中の香取市山倉神社の徒輩と喧嘩して手に入れたものと言われている。



所在地: 榎戸510



北向きの道祖神

総武台団地

大宮神社

榎戸

榎戸獅子舞

ふれあいバス(北)

八街北中

朝陽小

雁丸大宮神社

雁丸

綿貫右馬之助之碑

陣場跡

ハーモニー

子ノ神社

こえっばの弁天

至佐倉

榎戸駅

新蔵寺

八街北小

八街北小

六ツ塚之碑

泉台

文違

ふれあいバス(北)

貴船神社

富山

佐倉同協社跡

富山コミュニティセンター

八街高

至八街